

Microsoft Azure Customer Solution

この簡易ガイドは、すべてのマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要.....	1
詳細.....	1
マイクロソフトの意図.....	1
2022 年 2 月時点の Azure Customer Solution.....	2
Azure Customer Solution.....	2
例外.....	2
ソリューションの販売と Azure サービスの販売の違い.....	3
よく寄せられる質問.....	3

概要

このライセンス簡易ガイドは、Azure 製品条項で提供される Azure Customer Solution (旧称 Hosting Exception) の内容を明確に説明することを目的としています。このライセンス簡易ガイドは、新規の条項を紹介したり、既存の条項を補足したりするためではなく、このトピックについてのインサイトを提供し、Azure Customer Solution の意図を説明するために作成されています。

詳細

マイクロソフトの意図

Microsoft Azure サービスを再販することを希望する法人は、クラウド ソリューション プロバイダー (CSP) プログラムが利用可能かを評価する必要があります。Azure 製品条項の Azure Customer Solution では、ボリューム ライセンス契約を通じて Microsoft Azure を購入する法人に、Microsoft Azure 上でソリューションを構築してそのソリューションを同法人の顧客に販売することを許可しています。

製品条項の Azure Customer Solution が意図しているのは、Azure サービスを購入し、それを製品条項の「カスタマー ソリューション」の定義に適合する SaaS (サービスとしてのソフトウェア) アプリケーションの開発に使用する独立系ソフトウェア ベンダー (ISV) などのお客様です。

基本的に、Azure で構築したオファー向けのシナリオは、主に次の 3 つが考えられます。ただし、各シナリオは綿密に評価する必要があり、これらの事前定義されたシナリオのいずれにも該当しない場合があります。

- 1) **Azure の販売のみを行う法人** – CSP プログラムが利用可能かを評価
- 2) **Azure を活用した SaaS の提供を行う法人** – Enterprise Agreement (EA) または Microsoft Customer Agreement の Azure Customer Solution
- 3) **その他の活動を行う法人** (サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)、EA に基づく Azure の再販、付加価値を追加しない Azure サービスのバンドルなど) – これらの法人は、ボリューム ライセンス プログラムに適用される Azure 製品条項のもとでは許可されない可能性が高いと考えられます。マイクロソフト アカウント チームに相談して、この種のオファーをマイクロソフト製品で販売することを支援する適切なモデルを見つけてください。

2022 年 2 月時点の Azure Customer Solution

免責: 現時点で適用される契約条件、およびマイクロソフトのライセンス条項は、[こちら](#)の製品条項で確認してください。

Azure Customer Solution

使用権と使用条件

お客様は**カスタマー ソリューション**を作成しメンテナンスを行うことができます。お客様のライセンス契約の規約にかかわらず、お客様はサードパーティに対して、**Microsoft Azure サービス**へのアクセスおよびその使用を、当該**カスタマー ソリューション**の使用に関連したのみ許可するものとします。

お客様は、カスタマー ソリューションへのアクセス、使用、配布を行うサードパーティが、これらの規約、お客様のライセンス契約の契約条件、あらゆる適用法に準拠することを保証する責任を負うものとします。

カスタマー ソリューションとは、お客様がエンド ユーザーに提供する、お客様のアプリケーションと Microsoft Azure サービスで構成された任意のアプリケーションのことであり、お客様のアプリケーションには主要かつ重要な機能が付加され、主として Microsoft Azure サービスの代理品とならないものを指します。請求、ライセンス管理、および/またはインフラストラクチャ サービス (仮想マシン、コンテナ、ストレージ、またはそのようなインフラストラクチャ サービスの管理など) の機能のみを提供するお客様のアプリケーションは、「主要かつ重要な機能」を備えているとは見なされません。

例外

一部の Microsoft Azure サービスでは、Azure Customer Solution の条項に代わるものが該当する場合があります。問題となっている個々のサービスに適用される契約条件のすべてを確認するのは、お客様の責任となります。

確認を行うには、[こちら](#)の製品条項にアクセスしてください。

シナリオ	Azure Customer Solution 下での許可
旅行会社が、Azure に展開されたオンライン予約システムを保有しており、それをその旅行会社のエンド カスタマーおよびその旅行会社と提携関係のないサードパーティ (他の旅行会社など) のエンド カスタマー向けに、提携関係のないサードパーティが使用すること。	許可される
マネージド サービス プロバイダーが、自社の Azure インスタンスにユーザー インターフェイス (UI) を追加し、その UI をホスト型ソリューションと主張すること。	許可されない
インフラストラクチャ プロバイダーが、自社が所有する Azure テナントを使用してサードパーティまたはそのエンド カスタマーに対してマネージド インフラストラクチャ サービスを提供すること。	許可されない
リセラーが、Azure サービスをそのまま顧客に販売すること。	許可されない

ソリューションの販売と Azure サービスの販売の違い

どの契約方法を選択すべきかは、その法人が Microsoft Azure 上に構築したソリューションを販売するか、Microsoft Azure サービスを再販するかによって異なります。



よく寄せられる質問

Q1: 「主要かつ重要な機能」とは、どのような意味ですか。

A: Azure 上で実行するお客様のソリューションには、主要かつ重要な機能が明確に付加されている必要があります。不明確な点がある場合、お客様のソリューションはこの要件に合致していない可能性があり、詳細に評価していただく必要があります。

上記に一般的なシナリオを示しています。このリストはすべてのシナリオを網羅しているわけではありません。どのソリューションも個別に、Azure Customer Solution の要件に適合しているかどうかを評価していただく必要があります。

Q2: 「カスタマー ソリューション」とは何ですか。

A: カスタマー ソリューションは、Azure 上で実行される「アプリ」や「SaaS」のことです。

Q3: Azure Customer Solution でカバーされない Azure サービスを教えてください。

A: Microsoft Azure サービス プラン (Azure Stack Hub を除く)、Azure AD Premium、Azure Virtual Desktop (個別にライセンスを付与 – Azure 製品条項のサービス別のセクションで言及) として購入されるサービスを含みますが、これに限定されません。

Q4: ホスティングおよび Azure Stack Hub の詳細情報はどこで確認できますか。

A: [Azure Stack Hub のライセンス、パッケージ、料金のガイド \(microsoft.com、英語\)](#) および [製品条項](#) で確認できます。

Q5: Azure サービスの料金は税込表示ですか。

A: いいえ。マイクロソフト製品の定価はすべて税別表示です。

Q6: ISV が顧客に Azure の再販も行いたい場合、どうすればよいですか。

A: Azure の再販を希望する ISV パートナー様は、CSP パートナーとして契約する必要があります。

Q7: Azure の使用を顧客に促進するマネージド サービスを販売し、エンド カスタマーの Azure 環境の構成、管理、および/またはサポートを行うことを検討しています。この方法で市場に参入するのに適切な方法を教えてください。

A: CSP をご検討ください。CSP では、フル マネージド サービスを顧客に提供することが可能です。

Q8: マネージド サービス プロバイダーと Azure でカスタマー ソリューションを実行する ISV は、どのように違うのですか。

A: マネージド サービス プロバイダーは、完成形のアプリケーションを提供するのではなく、エンド カスタマーのクラウド環境を代わりに管理します。

Azure でカスタマー ソリューションを実行する ISV とは、Azure 上で実行するまったく新しい SaaS アプリケーションを作成したお客様のことを指します。エンド カスタマーは、そのソリューション全体を購入することになり、アプリケーションを実行するために必要な基盤のサービスを別途購入する必要がありません。

Q9: Azure Customer Solution の下で、Azure 上で実行される他のマイクロソフト製品をホストすることはできますか。

A: Azure Customer Solution の条項は Azure サービスにのみ適用されます。製品条項内の他のマイクロソフト製品に適用可能なサービス独自の条項を参照し、何らかのホスティング使用権が存在するかどうか確認してください。

Q10: マイクロソフト ビジネス アプリケーション製品の一部を利用するカスタマー ソリューションをホストすることを検討しています。このような SaaS に類似したソリューションに参入する最適な方法を教えてください。

A: 製品条項内の他のマイクロソフト製品に適用可能なサービス独自の条項を参照し、何らかのホスティング使用権が存在するかどうか確認してください。CSP として、マイクロソフト ビジネス アプリケーションおよび Azure に埋め込まれたアプリケーションを提供することを検討できます。

Q11: Azure で実行するポータル (管理コンソールなど) を構築した場合、Azure Customer Solution の対象になりますか。

A: 場合によって異なります。その「ポータル」が、カスタマー ソリューションと以下の Azure Customer Solution の条件を満たす場合は、対象となります。

- その Microsoft Azure サービスに主要かつ重要な機能を付加する、かつ
- 主として Microsoft Azure サービスの代理品とならない、かつ
- 請求、ライセンス管理、および/またはインフラストラクチャ サービス (仮想マシン、コンテナ、ストレージ、またはそのようなインフラストラクチャ サービスの管理など) の機能を単体で提供するものではない

© 2022 Microsoft Corporation. All rights reserved.このドキュメントは情報提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトのリセラーを通じて取得するライセンスの価格は、リセラーによって決定されます。